

MUSEUM
NEWS

vol.76

みのかも文化の森

2015年1/5発行



森の観察日記 26

フユノハナワラビ

森の中はもうすっかりと冬の枯れ野になっています。そんな中、木漏れ日のさす陽だまりに、ひときわ鮮やかな緑色が目立つ「フユノハナワラビ」が花をつけています。花と言っても、シダ植物ですから、はなびらはなく、茶色の胞子の詰まった房をつけた茎を伸ばします。

この「フユノハナワラビ」はお正月の縁起物としても人気のある植物です。

そういえば、今年の干支は「未(ひつじ)」です。文化の森に立ち寄られましたら、羊の名前がついた羊歯植物の「フユノハナワラビ」に目を留めてみてください。



BUNKANOMORI EXHIBITION !

「地方」文化のつくりびと
— 詩人・長尾和男と若葉文藝 —

●会 期 2015年2月14日(土)～3月22日(日)

●会 場 企画展示室

観覧無料



詩碑「川音」 美濃加茂市文化会館

長く美濃加茂に暮らした長尾和男(1902～1982年)は、詩人として知られています。東洋大学在学中に詩作を深め、仲間と共に詩誌『白山詩人』を刊行するほか、萩原朔太郎の序文と野口米次郎の序詩を収めた詩集『隠沼』を発行します。

卒業後、長尾は加茂農林学校(現 加茂農林高等学校)で国語教師となり、木彫部と文芸部の顧問として指導にあたります。この頃、文芸を志す学生たちと出会います。戦時中には台湾で農業学校に勤めますが、帰国後は美濃加茂に戻りました。当時の森山では、長尾の教え子や地元の文学愛好家らによって『総合文芸誌 若葉文藝』が発行されていました。長尾はこの活動に加わり、文芸の振興に力を注ぎます。その後、同人誌として創刊した『詩稿』は『SATYA』(さちあ)へと発展します。『SATYA』は今も続いています。

美濃加茂の文芸運動を牽引した長尾の関心は、詩作に留まりませんでした。加茂農林時代に指導した木彫品は、宮内省買上となります。その美術的な関心は自身の手掛ける書物にも表れ、自作の版画を装丁や挿画に用いました。更に美濃地方の狂俳、万葉歌、萩原朔太郎や井伏鱒二をテーマとした学术论文をも執筆しています。

詩、美術、文学史など多面的な文化運動を展開し、育て続けた長尾和男の足跡をたどりながら、この地に根付いた文化の歴史を今一度、捉え直します。



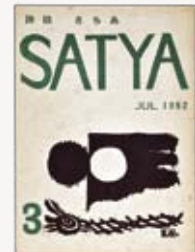
1



2



3



4



5



6

(1.『若葉文藝 詩特集号』 2.『隠沼』挿画 3.詩集『龍』挿画 4.『SATYA』3号 5.6.加茂農林学校 木彫部作品)

forum & event

●日時

●会場

●内容

アートな1日講座 版画でブックカバー	2月22日(日) 13:00～16:00	工芸室	詩人・長尾和男が詩集の装丁や挿画として手掛けていた版画を見ながら、本を飾る版画を刷ってブックカバーをつくりましょう。 参加料:500円 申し込み:当日受付(30分前より) 定員:10名
スペシャルミュージアムトーク 「長尾和男とSATYA」	2月21日(土) 14:00～15:00	企画展示室	現在のSATYAの同人である篠田康彦氏を迎えて、長尾和男とSATYAの活動についてお話いただきます。
ミュージアムトーク	3月8日(日) ①11:00～②14:00～	企画展示室	当館学芸員が展示室をご案内します。



事前申し込みについて

はがき(住所、氏名、電話番号、希望講座を記入)、ご来館、文化の森ホームページ講座申込専用フォーム

イベント

minokamo city museum

●日時	●名称	●会場	●参加料	●定員	●内容
1/17(土) 14:00~15:00	第146回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品：『花くらべー尾張名古屋に咲く花はー』より 「徒花」 堀田あけみ/作 「雨降る夜に」 赤川次郎/作
1/18(日) 14:00~	坪内逍遙大賞受賞記念 吉永小百合さん出演作品映画会	緑のホール	無料	120名	第15回坪内逍遙大賞が俳優の吉永小百合さんに決まりました。これを記念して吉永さん主演映画「潮騒」(1964年 日活)を上映します。※要整理券
2/21(土) 14:00~15:00	第147回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品：「花かんざし」 立原えりか/作 「馬と乞食」 別役 実/作 「二人小町」 芥川龍之介/作
3/21(土) 14:00~15:00	第148回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品：「桜絵師」 光原百合/作
~2015. 3/ 15(日)	ていねいな暮らしと 道具展	民具展示館	無料	—	市民のみなさんから寄贈された昔の道具から、人々の知恵や生活の苦労などを知ります。 学校の学習活動とも連携し、体験しながら学びます。

ていねいな暮らし講座

minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
~1/ 4(日)	年中行事 門松立て	かつてこのあたりでみられた簡素な 門松を立てます。自由観覧。	—	生活体験館	—	—
2/ 7(土) ↓ 4/ 3(金)	年中行事 ひなかざり	土びなをかざり、野山の花をそなえ ます。自由観覧。	—		—	—
3/14(土) 9:30~12:30	春を染める	春の草木で染めの体験をします。親 子歓迎。 持ち物：エプロン	当日受付 (30分前より)		1000円	20名

文化の森ボランティア募集

「文化の森でなにかしたい!」
「ボランティアに関心がある!」
そんな皆様のご応募お待ちしております。

●申し込み方法 直接またはお電話

●ボランティア説明会 4/ 4(土) 10:00~

●特典

みのかも文化の森が主催する他館の視察や見学会に参加できます。
また年4回ほど開催する企画展の解説会に無料で参加できます。

●報酬について

ボランティア活動を目的として、無償での活動となります。

●募集する分野

展示ガイド………	展示室の案内や地域の歴史・文化を調べたり伝えたりしています。
アート………	美術の分野の講座や美術の企画のお手伝いなどをします。
生活体験………	主に生活体験館や民具展示館において、昔のくらしを伝える講座・イベントの案内をします。
学習支援………	児童生徒が文化の森で学習する際のお手伝いをします。
伝承料理の会………	伝承料理の研究や講座の企画をします。
イベント………	森のコンサートを中心にイベントのお手伝いをします。

※各分野5~10名募集します。

2015年 1月～2015年 3月

講座にお申し込みいただいた個人情報、以下の項目のみに使用します。
1.お申し込みに関する問合せ 2.講座開催に関する連絡 3.抽選結果の通知

みのかも文化の森
minokamo city museum

フォームのいずれかの方法でお申し込みください。 ■電話、FAXによる受付は行いません。 ■応募者多数の場合は抽選となります。

アートな1日講座

minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
1/25(日) 13:00～16:00	フェルトのストラップ	ふわふわ暖かいフェルトでストラップづくりに挑戦しましょう。	当日受付 (30分前より)	工芸室	500円	20名
3/22(日) 13:00～16:00	陶芸 (手びねりまたはろくろ)	手びねりの技法またはろくろで簡単な器をつくります。出来上がった作品は、後日お渡しします(送付の場合有料)	当日受付 (30分前より)	陶芸室	1000円	20名

四季を食べる講座

minokamo city museum

ボランティア「伝承料理の会」と一緒にこの地域に伝わる料理を作ります。料理にまつわる楽しいお話も聞けます。
エプロン、三角巾をお持ちください。

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
2/3(火) 10:00～13:00	美濃加茂のオトキ	家でお葬式をやっていた頃、弔問客にお出ししていた料理です。	事前申し込み (12/23(火)～1/14(水))	生活体験館	300円	20名
2/15(日) 10:00～13:00	本当のひなまつり	今とは違う、美濃加茂の昔のひなまつりのごちそうを味わってみませんか?	事前申し込み (1/11(日)～1/25(日))		500円	

ミュージアムレポート

輝く「みのかも文化の森賞」

毎年行われる「美濃加茂市科学・社会科作品展」において、今年度から新たに「みのかも文化の森賞」を創設しました。子どもたちが博物館との関わりを深め、型どおりではない、のびのびとした発想で心をときめかせて「なぜ」を追究している姿が伝わる作品に贈呈されました。
今年度は、以下の3名の方が受賞されました。

◎科学作品

「だいたずのかんさつ(あさがおとくらべて)」 山之上小学校1年 伊佐治 優さん
伸びていく大豆の生長を見つめる作者とその姿を温かく見守る家族のようすが伝わる作品です。

「かわいい強いカタバミ」 蜂屋小学校4年 長尾 はな乃さん

家の庭や周りにあるカタバミ。雑草にしかみえない草ですが、よく見るとなんだかかわいい形をしています。家から学校までの道に生えているカタバミを調べて地図にしてみました。

◎社会科作品

「わたしのむかしの道ぐ事てん」 山手小学校3年 松永 野乃華さん

教科書に載っている昔の道具に興味を持ち、博物館にある資料を学芸員さんに尋ねてみました。丁寧に調べ、見聞した感動が研究にまとめられています。

受賞者の皆さんには、文化の森職員直筆の賞状、文化の森の木を使って「可能性を持つ芽」を表現した手作りのトロフィー、そして、副賞として、「文化の森一日体験」券を贈呈しました。



「文化の森賞副賞」～『文化の森でわくわくたいけん』～

10月の終わりに山之上小1年生の伊佐治 優さんが、『文化の森わくわくたいけん』と題した副賞・一日体験をされました。事前にお母様から優さんが興味のある分野をお伺いし、3つの体験を行いました。

そのうちの一つ、「森の博士と森たんけん」で、チョウの大好きな優さんが、森の中を飛び回って、チョウを見つけたり、採ったりしました。この日は、絶好のチョウ観察日で、奇跡的に「クロコノマチョウ」を発見、優さん自身が採集しました。

図鑑でチョウの名前を調べた後、「家に帰ったら、(つかまえたチョウは)自由にしてあげようかな。」と話していた優さん。分からないチョウをつかまえたなら、見せに来てくれるそうです。

これからも、子どもたちの「わくわくどきどき」に寄り添える博物館でありたいと願っています。



加茂の遺跡展

加茂地域では、各時代の遺跡が調査・記録されてきました。発掘調査を通じた加茂の歴史と共に発見・調査に関わった人の姿に注目します。
また、伝えられてきた文化遺産や歴史と地域、それに関わる市民活動を紹介します。
みのかも定住自立圏事業として、美濃加茂市と加茂郡の7町村によって開催するものです。

●会 期 12月 6日(土)～ 2015年 2月 1日(日)

観覧無料

●会 場 企画展示室



本物にさわる(昨年の会場)



昨年のフォーラム

ミュージアムフォーラム「文化遺産と市民ーその関わり合いを考える 2015」

私たちの暮らす「まち」には、先人により文化財、博物館資料、歴史的遺産、文化遺産などと呼ばれるような多くのものが、大切に守り伝えられてきました。近年、それらの魅力や価値を現代に生きる私たち自身が新たに引き出すことで、人々との関わり合いを深めたり広げたりする活動が取り組まれています。
2回目となるフォーラムでは、活動の報告・パネルディスカッションを通じて、関心のある方々が出会い、交流することで、現状と今後を考えます。

【日 時】1月31日(土) 13:00～15:30

【参加料】無料

【定 員】120名

【会 場】緑のホール

【受 付】当日受付(12:30より)

市制60周年記念展 1954年の物語

●会 期 12月 6日(土)～ 2015年 2月 1日(日)

●会 場 美術工芸展示室

観覧無料



昭和34年の美濃太田駅

1954年(昭和29年)4月1日、当時の8町村1区域が合併し現在の美濃加茂市が生まれました。本展示では、美濃加茂市誕生とその当時の様子を、資料やパネル展示など目に見える形にあらわし、市制発足時の情景や思い出について回想します。そして次の新しい歴史をつくりだす力を得る機会としたいと考えます。



火鉢

ていねいな暮らしと道具展

●会 期

9月13日(土)～2015年 3月15日(日)

●会 場 民具展示館

観覧無料

市民のみなさんから寄贈された道具を展示し、昔の道具から人々の知恵や生活の苦労などを知ります。学校の学習活動とも連携し、体験しながら学びます。



電気洗濯機

みのかも文化の森 美濃加茂市民ミュージアム

MINOKAMO CITY MUSEUM

〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上峰屋3299-1
TEL.0574-28-1110 FAX.0574-28-1104
<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

■ご利用のご案内

開館時間 9:00～17:00

(ただし、展示以外の施設利用は8:30～22:00まで)

休 館 日 月曜日(ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館)、年末年始

■1月・2月・3月の休館日

12月29日～1月3日、5日、13日、19日、26日
2月2日、9日、16日、23日 3月2日、9日、16日、23日、30日

■交通

鉄 道/JR名古屋駅より美濃太田駅まで東海道本線・高山本線
經由特急「ひだ」で約40分、駅北口より徒歩約17分
自動車/東海環状自動車道美濃加茂ICより約5分、駐車場174台

■あい愛バス

JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車(約8分)

平 日/日本昭和村・富加線(1日3往復)

土 日 祝 日/文化の森公園線(1日7往復)

運 賃/一般 200円 小中学生 100円 未就学児無料
時 刻表/詳しくは、美濃加茂市ホームページをご覧ください

